

# HCC TIMES



## Vol.267 9 2025



豊泉家グループ 一般財団法人 SF 豊泉家  
〒561-0881 大阪府豊中市中塚塚3-2-1  
TEL:0120-294-998  
https://www.housenka.com/  
編集元: マーケティング部 瀬戸根 将成  
2025.9.1 発行

### 豊泉家アウトドアフィールド 淡路島マリッジプログラム

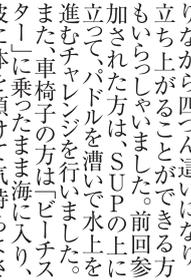
8月5日(火)淡路島大浜海水浴場にて第9回豊泉家アウトドアフィールド淡路島マリッジプログラムを開催しました。

豊泉家アウトドアフィールドは、新型コロナウイルスの影響により外出の機会や他者との交流が少なくなっているチャレンジの皆様へ、大自然の中で思い切り体を動かして、新しいことにチャレンジしていただきたいという想いからスタートしました。

今回は豊泉家コミュニティクラブ竹林晃コミュニティ長をはじめ、運営メンバーが何度も打ち合わせや現地確認を行いました。また、事前にサポートスタッフに向けてご参加いただく皆様様に適切なサポートができるように現地でのトレーニングも行いました。



車椅子の方には「ジャリスタ1」に乗って波打ち際で徐々に水に慣れていただきました。



まずはSUPにまたがることから始め、慣れてきた方はSUPの上でバランスを取りながら四つん這いになり立ち上がることのできる方もいらっしゃいました。前回参加された方は、SUPの上に加えてパドルを漕いで水上を進むチャレンジを行いました。

「Stand Up Paddle board(スタンドアップパドルボード)」の略称で、その名の通り、ボードの上に立ち、パドルを漕いで水面を進むアクティビティです。



お帰りの際に「また来年も来たい」と笑顔で仰り、皆様から楽しんでいただけたと感じるご声ごうが、今後も皆様と一緒に新しいアウトドアにチャレンジしていきたいと思っております。

イベントの最後にはスイカ割りにも挑戦しきれいに割れたスイカを皆で美味しくいただきました。



7月25日(金)日本三大祭りのひとつである「天神祭」において、今年も天神祭船渡御奉拝船「豊泉家号」を仕立て、約150名を乗せて船渡御に参加いたしました。千年以上の歴史を誇り、浪花の夏の風物詩として多くの人々に親しまれている天神祭。「豊泉家号」も、今年で13回目の出航を迎えることができました。

当日は、上方落語協会嘶家連の皆様によるぎやかなお囃子の船上を盛り上げる中、桂春之輔様の司会進行で華やかにスタート。開宴に先立ち、四代目 桂春團治師匠より挨拶と乾杯のご発声がありました。引き続き「豊泉家号キヤブテン(船長)」として、豊泉家グループ代表 田中 成和会長より挨拶がありました。その後、船はゆくりりと大川の水面を進み始めました。



船上では、鉦や太鼓が鳴り響く中、行き交う船同士での「大阪締め(手打ち)」船同士の「大坂締め」では一体感に包まれました。一方で、天神様をお乗せした「御風船」や奉安船とすれ違う際には、すべての催しを一時中断し、二礼二拍手で静かに御見送りを行いました。

船上エンターテインメントとしてジャズボーカリストとギタリストによる生演奏やお楽しみ抽選会が行われ、皆様その場の雰囲気を感じながら、賑やかに盛り込まれました。日が暮れるにつれ、夜風が涼やかに吹き抜ける中、目の前には約3,000発もの奉納花火が夜空を鮮やかに彩り、歓声とともに多くのお笑顔がこぼれました。今年も「豊泉家号」は、伝統と感動が交差する特別な夜をつくり上げ、多くの方々にとっくに残る夏の思い出となりました。



豊泉家グループでは、地域貢献の一環として各地のお祭りへの協賛や出店活動を行っております。

8月1日(金)8月2日(土)の2日間、大阪市住之江区の新北島東公園で開催された「新北島納涼盆踊り大会」にて、フライドポテトと大マートボールの屋台を出店いたしました。

### 天神祭

### 地域の夏祭り

記者・福井晴香

記者・福井晴香

### HCC北緑丘

#### PERFORMANCE SHOW

7月15日(火)特別養護老人ホーム豊泉家 北緑丘にて特別イベント「PERFORMANCE ANCE SHOW」を開催いたしました。

今回は、M.R.オクチ様にお越しいただき、大道芸とマジックショーを披露いただきました。M.R.オクチ様は「最初から最後まで笑いはなし。見る人全てに笑いと感動を」というキャッチフレーズを掲げられており、キャッチフレーズ通り会場は笑いと感動に包まれました。マジックを披露いたご入居者の驚きの表情と満面の笑みで会場が満たされました！

最後にはテーブルが宙に浮くマジックを披露いただき「どうなるんだろ？」「すごい！」と今日一番の拍手と歓声が起りました！



普段は味わうことができない非日常を感じていただけたと思います。引き続き皆様に楽しんでいただける企画を考えてまいります。

記者：北村 美果



### HCC桃山台

#### BBQ

7月31日(木)アシスタテッドリビングホーム豊泉家 桃山台にてBBQをご堪能いただきました。

夏と言えばBBQということで、夕焼けを見ながらリバーサイドでお食事を愉しんでいただきました。夏ならではの旬の食材をふんだんに使った御膳をご提供。赤身やカルビ、ウインナーは炭火で焼き、出来立てを味わっていただきました。「お肉が柔らかくて歯がいらな」と言われる方も多く、次々とおかわりの声が上がりました。



また、お食事中のエンターテインメントとして、クラリネットとピアノの二重奏をお楽しみいただきました。夏らしい音楽とともにお食事を味わっていただき、参加された入居者からは「炭で焼いている匂いがいいね」「外で食べる食事はいつも以上に美味しい」と嬉しそうなお言葉をいただきました。

今後も皆様様に四季を実感していただけるようなイベントを企画してまいります。

記者：摺石 奈々

### HCC住之江

#### 棒サッカー練習会

ケアハウス豊泉家 住之江と、デイサービスセンター豊泉家 住之江では、月に1度合同のアクティビティとして「棒サッカー練習会」を開催しています。

練習とはいえ、本番さながらの熱気の中で、お互いにスキルを高め合っています。

2025年度の棒サッカー大会での優勝を目指し、試合形式を取り入れた熱い練習も行っており、この日も練習を行って、熱い表情、大きな声援に包まれるたび、熱い歓声や悔しがる表情、大きな声援に包まれます。

毎月の棒サッカー練習会は盛り上がりつつあります。

ケアハウス豊泉家 住之江と、デイサービスセンター豊泉家 住之江の両チームは棒サッカー大会での優勝を目指して日々努力を重ねています。

皆様から熱い声援をどうぞよろしくお願ひいたします。両チームとも頑張ってください！

記者：北村 美果



### HCC芦屋山手

#### 有馬ランドホテルランチ

7月17日(木)芦屋コミュニティのおでかけイベントとして、デイサービスセンターケアハウス・ナーシングホーム合同で、有馬ランドホテルランチに行っていました。

ご利用者「ウローあわせて総勢23名が参加し、道中の車内では、昔、子供が小さいときに行ったわ」「今回行くのは何十年ぶりなので、楽しみと霧閉気な会話に包まれました。ランチは「黒毛和牛すき鍋」または「はもすき鍋」のいずれかをお選びいただきました。料理の美味しさのときが流れる場面もありました。



今回、初めての合同イベントを行い、ご利用者「ご入居者としてフェロ」との交流を深める貴重な機会となりました。集合写真は、開放感のあるロビーを含め3か所で撮影。お土産には有馬名産「炭酸せんべい」を購入するの、充実したひとときを過ごしました。帰りの車内では「久しぶりに来てよかったです」「前来た時と変わってなくて懐かしかった」との声も多く聞かれました。

今後も、チーム合同でのイベントを企画してまいります。

記者：石倉 萌

### HCC上町台

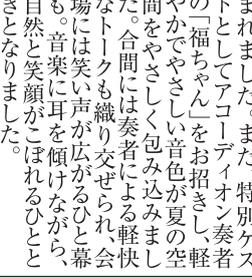
#### アコーディオンの音色と屋台グルメを満喫♪

7月11日(金)養護老人ホーム豊泉家 上町台天森にて「夏祭り」を開催いたしました。事前におこなったアンケート結果をもとに、皆様の「食べたい！」を踏まえて、屋台メニューをご用意。たこ焼き、ギザ、ソフトクリームに加え、キンキンに冷えたビールなど、会場には本格的な屋台が立ち並び、まさにお祭りムード一色となりました。

屋台での食事を楽しむ皆様、表情は終始にこやかに、笑い声や会話が飛び交い、会場全体が温かな雰囲気になりました。また、特別ゲストとしてアコーディオン奏者の「福ちゃん」をお招きし、軽やかでやさしい音色が夏の空間をやさしく包み込みました。会場には奏者がよる軽快なトークも織り交ぜられ、幕の音、音楽に耳を傾けながら、自然と笑顔がこぼれるひとときとなりました。

「久しぶりにお祭り気分を味わえた」「音楽に癒された」といった嬉しい声も多く寄せられ、大盛況の一日となりました。次回もお楽しみに！

記者：原 慶彦



### HCC茨木

#### 七夕イベント

7月7日(月)ほうせんか病院緩和ケア病棟4階スカイコートにて、七夕イベントを開催いたしました。今年の七夕は「スリーセブン」という特別な日。患者さまは「願い事がすべて叶いそう！」と愉しくお話ししながら、何を書くか悩むつらさ、笑顔で短冊に願い事を書かれていました。

会場には笹飾りが用意され「おいしいものが食べたい」といったかわいらしい願いごとから、関西らしく「阪神優勝!!」という熱いメッセージの願いごとも多く見られ、皆様の思いが込められた短冊が笹を彩りました。



### HCCキッズクラブ

#### 感覚遊び・水遊び

今年も記録的な猛暑日が続いていますが、キッズクラブの子どもたちは暑さに負けず、毎日元気いっぱいです。様々な感覚遊び、そして水遊びを楽しんでいます。絵の具を凍らせた氷の絵の具では、溶けていく氷で大きな模造紙にお絵描きをしました。クレパスと違い、冷たい氷の感触を楽しみながら、ダイナミックに手を動かしていました。



また、この日はフェロとポランテアの皆が浴衣姿で登場し、七夕をイメージした特別なデザートもおもてなしました。星形のフルーツが盛り付けられたデザートは、色鮮やかで見てもかわいらしく大変好評でした。

今後も患者さまに季節を感じ喜んでもいただけるイベントを企画してまいります。

記者：岡村 由佳

色水遊びでは、水の入ったペットボトルに「おいしいジュースになあれ！」と魔法をかけて、ペットボトルを振ると、透明だった水がカラフルなジュースに変身！子どもたちはビックリした様子でした。

2つの色を混ぜ合わせ、色の変化を楽しんだり、ジュース屋さんになって「ご遊びをしたら、目をキラキラさせて楽しんでいました☆

記者：村山 淳子



豊泉家父の日

9月4日(木)は、豊泉家「父の日」です。豊泉家グループでは5月22日を「母の日」、9月4日を「父の日」と定め、感謝の想いを胸に、あらためて自分自身を見つめなおす大切な日として位置づけております。

この日は、豊泉家グループ創立の父である故・安達孝専務理事が89年の天寿を全うされた命日です。安達専務理事は大手企業要職を歴任された豊泉家グループに入職。26年にわたりグループ内の職務に留まらず、広く社会福祉に貢献されました。社会福祉法人福祥福祉会専務理事として「生涯現役」を貫かれたその姿は、豊泉家グループが信条とする「臨終年度制度」の体現であり、私たちフェローにとって大きな道標となっております。

また9月4日は、豊泉家ユニットピア構想の実現を目指し、フェロー一人ひとりが専務理事のご遺徳を偲び、そのご遺志を受け継ぐとともに、創立当初からの福祉への想いを新たにする日でもあります。豊泉家グループ一同、これからもさらなるサービスの向上を目指し、心をひとつに邁進してまいります。

記者：桂裕生



地域医療連携交流会を開催いたしました

8月8日(金)ほうせんか病院にて、医療法人成和会として連携している地域の医療関係者の皆様にお越しいただき、地域医療連携交流会を開催しました。

第1部ではレストラン和AGOMIにて豊泉家の食を味わい、医療連携の話を含めて和やかに歓談の時間をお愉しみいただきました。第2部では会場を屋上テラスに移し、茨木辯天花火大会の花火を鑑賞しました。ほうせんか病院に入院されている患者さまもフェローと共に屋上テラスで観賞され、ご自身のスマートフォンで撮影される様子もありました。

途中雨に見舞われるシーンもありましたが、大会は無事ファイナルを迎え、最後の花火が打ち上げ終わると、空の輝きと瞬の静けさの後、拍手が沸き起りました。引き続き、医療法人成和会として、地域の医療関係者の皆様との連携を図り、地域医療に貢献できるよう、尽力してまいります。

記者：瀬戸根将成



北大阪ほうせんか病院 外来健診センターリニューアル

北大阪ほうせんか病院内の外来診察フロアや健診センターなど、院内環境を快適に保つためのリニューアルが竣工しました。新しい機械も導入し、より快適に健診や診察を受けていただけるようつくり生まれました。

これからは患者さま、ご家族フェローが過ごしやすき環境づくりを行ってまいります。



第4回にんちしようサロン開催(住之江)

7月12日(土)住之江コミュニティにて、第4回「にんちしようサロン」を開催いたしました。

当日は地域の皆様をはじめご入居者やご家族等、約40名の方にご参加いただき、今回も心あたたまる交流のひとときとなりました。

開会にあたり社会福祉法人福祥福祉会 理事長 福井良幸より「にんちしようサロン」立ち上げの趣旨についてお話しさせていただきました。にんちしようとひらがな表記にしていることについて空のな話にとどまらず、日々の小さな悩みや気づきを前向きに共有できる場でありたいとの思いが語られました。

その後、希望者を対象に、社会福祉法人天森誠和会理事長 阿久根賢による「認知症セミナー」が開催され、豊泉家グループが実践する認知症ケアの事例や視点を交えながら熱心にメモを取りながら耳を傾けていました。

また、今回もご入居者の皆様に「受付ドリンクのオーダー確認・配膳などをお手伝いいただきました。各テーブルでは、初対面同士の方々が自然と挨拶を交わし、会話に花が咲き、世代や立場を超えたつながりが生まれていました。

記者：東谷 祐子

豊泉家では、Jリーグガンバ大阪とパートナーシップを結び、人生をもっと楽しめる社会の実現に向けて挑戦しています。その中核をなすのが、豊泉家とガンバ大阪による独自の取り組み、Assisted supporters(通称アシサポ)です。この活動では、介護や支援が必要な方でもスポーツ観戦を楽しみ、応援の喜びや仲間との一体感、非日常の高揚感を全身で感じられる環境を創出しています。

Assisted supporters(アシサポ) ガンバ大阪との取り組み活動報告

スタンドでは「今日は○○選手がスタメンちゃうかな」と選手予想をされる姿も。その予想が的中した際には周囲から拍手が起き、応援する体感が生まれていました。

試合は2-1でガンバ大阪が逆転勝利を収め、場内が青いLEDライトに包まれる幻想的な「ガンバクラブ」が展開。こんな経験ができるなんて思わなかったといった声も聞かれ、まさに、感動を共有する時間となりました。



この1日を支えていたのは、ご入居者をアシストする豊泉家のフェローたち。車椅子導線の確認や医療連携、感染症対策など、多職種が連携して事前準備を重ねてきました。

「今日は、支援する側じゃない、一緒に応援する仲間、という時間」を心から楽しんでいました。

介護が必要だからこそ、心が動く体験を大切に。今後豊泉家では、スポーツ観戦を通じてご入居者の「やりたいこと」「挑戦したいこと」を一緒に叶えていきます。

記者：東谷 祐子

おしえて ゆたかくん! 豊泉家で特別な想いを持って使用している言葉【豊泉家ワード】をゆたかくんが解説いたします!

9月 豊泉家グループからのお知らせ 百歳クラブ 9月15日(月) 11:00~13:30予定 名豊会 長寿を祝う会

※本号記事内の一部記載内容は当時のもの